ARTS COUNCIL TOKYO

平成 30 年 3 月 29 日
アーツカウンシル東京
（公益財団法人東京都歴史文化財団）

アーツカウンシル東京 平成 30 年度事業ラインアップ発表

●アーツカウンシル東京では、2020 年に向けて、これまで行ってきた事業に加え、芸術文化団体にとどまらない様々な主体への助成事業や、Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募事業の採択を通じて、多くの都民が文化プログラムに参加できる機会を充実させます。

●特に平成 30 年度以降は、2020 年を盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」※の中核を担う事業を、主催事業として多数展開していきます。

●アートの視点から社会の課題に向き合う現場や、社会とアートのつなぎ手となる人材の育成など、多角的に事業を展開していきます。

■Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募の採択決定

平成 29 年度に実施した **Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募**に寄せられた企画の中から、2019 年秋から 2020 年 9 月までの間に実施する企画を採択します。これまでにない大規模な公募には、国内外から、個人・団体を問わず、様々な分野で、約 2400 件の応募がありました。今後厳正な審査を経て、今夏に採択企画を決定する予定です。採択企画の決定後、事業の実施に向け、着実に準備を進めていきます。

■多くの人が文化プログラムに参加するための Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成や場の開放事業「トパコ」の実施

2020 年に向け、より多くの人が文化プログラムに参加いただけるよう、Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成を実施します。**「気運醸成プロジェクト支援」「市民創造文化活動支援」「海外発文化プロジェクト支援」「未来提案型プロジェクト支援」**の 4 つのカテゴリーで、2020 年 9 月までに実施される事業を対象として、年 2 回公募を行う予定です。また、都民の芸術文化活動の発表機会を創出する場の開放事業（**都民パフォーマーズコーナー・通称トパコ**）を実施します。

■「Tokyo Tokyo FESTIVAL」プロモーション・ブランディング事業の展開

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」に向けた期間について、**「Road to Tokyo Tokyo FESTIVAL」**として、認知強化や気運醸成を図るために、発表会イベントを定期的に開催し、東京文化プログラムの事業内容について情報発信することなどにより、国内外への発信と拡散強化を進めていきます。

※「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に向かって、幅広い関係者と連携をし、東京および日本の文化の魅力を国内外に発信することにより気運を醸成し、日本中で盛り上がりを作っていく取り組みです。国内外から最も注目が集まる、2020 年の大会期間を含む約半年間に実施する東京文化プログラムを「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打ち、集大成となる文化事業を展開します。2020 年までの期間についても「Road to Tokyo Tokyo FESTIVAL」として、さらなる気運醸成を図っていきます。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

●アーツカウンシル東京
世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020 年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。
http://www.artscouncil-tokyo.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：森（隆）、圓城寺
TEL：03-6256-8432　E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

平成 30 年度 アーツカウンシル東京　事業ラインアップ

1 2020 年に向けた文化プログラムの展開

2020 年に向けて、助成事業や企画公募事業、東京キャラバン、TURN といった文化プログラムを牽引する事業を展開することで、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会を作り出していくとともに、発信力強化を進めます。

○Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成（旧称 東京文化プログラム助成）

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020 年に向け、より多くの人々が文化プログラムに参加いただけるよう助成事業を実施します（2 期制を予定）。

企画内容により、以下の 4 つのカテゴリーで募集します。

【実施場所】東京都内

【対象期間】2018 年 7 月から 2020 年 9 月まで

事業名	概要
気運醸成プロジェクト支援	民間企業など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある芸術文化事業を支援し、2020 年に向けた気運の醸成を図っていきます。
市民創造文化活動支援	都民の日常的かつ主体的な芸術文化活動を支援します。
海外発文化プロジェクト支援	海外からのアーティスト等の東京での新作発表を支援し、東京が国際的な創造活動拠点として魅力ある都市となるとともに、都民が新しい表現に触れる機会を提供します。
未来提案型プロジェクト支援	アートとサイエンスの融合により、新しい表現の創造や技術の開発にチャレンジするプロジェクトを支援します。

○Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募事業

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の中核となる目玉事業を創出するため、斬新で独創的な企画や、多くの人々が参加できる企画を広く募り、採択した企画を東京都及びアーツカウンシル東京等の主催事業として実施する事業です。2018（平成 30）年度は、2017（平成 29）年度の公募により集まった約 2400 件から採択企画を決定し、制作を開始します。採択企画は 2019 年秋から 2020 年 9 月までに実施し、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」のメイン事業として展開する予定です。

【実施場所】東京都内

【開催時期】2019 年秋から 2020 年 9 月まで

○場の開放事業「都民パフォーマーズコーナー・通称トパコ」

民間企業等と連携し、自社ビル等の場を開放して、都民の芸術文化活動の発表機会を創出する事業です。様々な人が文化プログラムへ参画すること、また従来の枠組みや場所にとらわれない文化プログラムの展開に繋げていくことを目的としています。会場提供企業等も含め、より多くの人の文化プログラムへの興味を喚起することも目指します。

【実施場所】東京都内

【開催時期】未定（年間 3 回程度）

○Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーション・ブランディング事業

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」※に向けた期間について、「Road to Tokyo Tokyo FESTIVAL」として認知強化、気運醸成を図るため、発表会イベントを東京 2020 大会開催までに定期的に開催し、東京文化プログラムのコンテンツラインアップについて情報発信することなどにより、国内外への発信と拡散力の強化を図っていきます。

※「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に向かって、幅広い関係者と連携をし、東京および日本の文化の魅力を国内外に発信することにより気運を醸成し、日本中で盛り上がりを作っていく取り組みです。国内外から最も注目が集まる、2020 年の大会期間を含む約半年間に実施する東京文化プログラムを「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打ち、集大成となる文化事業を展開します。2020 年までの期間についても「Road to Tokyo Tokyo FESTIVAL」として、さらなる気運醸成を図っていきます。

【実施場所】未定

【開催時期】未定

○東京キャラバン

劇作家・演出家・役者である野田秀樹氏の発案により、多種多様なアーティストが出会い、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた文化ムーブメントです。2015 年の東京・駒沢に始まり、リオデジャネイロ、東北（仙台・相馬）、六本木、京都、八王子、熊本でそれぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを展開。今後も全国各地に出没し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図ることで、東京 2020 大会以降の文化的な基盤を創っていきます。

【実施場所】秋田県、豊田市、高知県

【開催時期】通年

○TURN

監修に日比野克彦氏を迎え、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの属性や背景の違いを超えた多様な人々の出会いと表現を生み出すアートプロジェクトです。様々な分野の機関と連携及び協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指します。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外で展開し、発信するとともに、TURN の考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していきます。

【実施場所】東京藝術大学、東京都美術館、東京都内各所　ほか

【開催時期】通年

2 東京の創造活動や地域の文化、社会や都市の課題を見据えた助成

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施します。

事業名	概要
東京芸術文化創造発信助成 〈長期助成、単年助成(2 期制)〉	東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。 長期助成プログラムでは、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的に最長 3 年間の支援を行います。また、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成します。 単年助成プログラムでは、助成対象期間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動をサポートします。 ※単年助成に関しては、平成 30 年度より助成対象期間が変更となります。
東京地域芸術文化助成	東京都内の無形民俗文化財を活用した地域の文化の振興に資する公演活動等や、特定の地域における文化資源を活用した事業を実施する、東京を拠点とする NPO や実行委員会、芸術団体、保存会、継承団体等に対して活動経費の一部を助成します。
芸術文化による社会支援助成 (2 期制)	障害者や高齢者、子供、青少年、在住外国人等が主体的に関わる芸術活動や、社会や都市のさまざまな課題を見据え、その改善に資することを目的とした先駆的な芸術活動を支援します。 ※平成 30 年度より助成対象期間が変更となります。

3 東京の芸術文化を創造し、世界に向けて発信

芸術文化団体やアート NPO 等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。また、文化の面でのレガシーを 2020 年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現をめざします。

〇フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

【フェスティバル】

事業名		実施場所	開催時期(予定)
伝統文化・芸能	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2018～	八王子エリア	9 月 22 日(土)・23 日(日・祝)
	八王子市をはじめ、多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能に馴染みのない人々も気軽に親しめるフェスティバルを開催します。街なかでの体験コーナーや野外ステージでの公演など、多彩なプログラムを実施します。		
	東京大茶会 2018	江戸東京たてもの園	10 月 13 日(土)・14 日(日)
		浜離宮恩賜庭園	10 月 20 日(土)・21 日(日)
	都内の庭園と野外博物館において、様々な茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催し、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を国内外へ紹介します。本格的な茶席をはじめ、秋空の下で楽しむ野点や初心者向けの茶道教室、英語による茶席や野点など、茶道に馴染みのない方や海外の方などが「お茶の文化」に親しみ、気軽に楽しめる茶会です。		
	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2018	神楽坂エリア	11 月 10 日(土)・11 日(日)
	伝統と現代が融合する神楽坂エリアの毘沙門天善國寺や赤城神社、神楽坂通り、石畳の路地などを舞台に、数々の粋でスタイリッシュな伝統芸能ライブを開催します。また、芸者衆とのお座敷遊び体験、スタンプラリーなど、外国の方や若い世代の方も、誰もが気軽に楽しく日本の伝統文化・芸能、そして“まち”と出逢える 2 日間です。		
	大江戸寄席と花街のおどり その八	国立劇場	9 月 17 日(月・祝)
	江戸の町人文化の隆盛の中で花開いた落語や寄席芸と、花柳界に伝わる芸能を楽しめる伝統芸能のエンターテイメント公演を実施します。東京の六つの花街（新橋・赤坂・浅草・神楽坂・芳町・向島）の芸者衆のおどりと演奏、江戸情緒を現代の東京に息づかせる伝統芸能をお届けします。		
	第 19 回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	狛江エコルマホール	12 月 9 日(日)
	多摩川流域の地域文化の交流を通して、郷土芸能の活性化・地域文化の振興を図るため、多摩川流域で育まれた郷土芸能を 9 団体が披露する公演を実施します。		

事業名		実施場所	開催時期（予定）
伝統文化・芸能	**伝統芸能事業（「J-CULTURE FEST」連携事業）**	**東京国際フォーラム**	**平成 31 年 1 月 2 日（水）・3 日（木）**
	多彩な日本文化の魅力を発信する事業である「J-CULTURE FEST」と連携して、誰もが気軽に楽しめる伝統芸能事業を実施します。		
	伝統芸能普及公演	**未定**	**未定**
	日本の伝統文化・芸能の魅力を広く発信し、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない方々に、本格的な伝統芸能をわかりやすく見せる公演を実施します。		
音楽	**プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～**	**多摩地域・島しょ地域の各所**	**通年**
	「首都東京の音楽大使」である東京都交響楽団が、多摩地域・島しょ地域の各所で、子供から大人まで幅広い方々に向けてクラシック音楽を身近に親しめるように、参加・体験型のオーケストラ公演、アンサンブル公演を実施します。		
	Music Program TOKYO	**東京文化会館　ほか**	**通年**
	世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、特に次代を担う子供たちに向けた《Music Education Program》を開催します。		
	アンサンブルズ東京	**東京タワー**	**8 月 26 日（日）**
	音楽家・大友良英氏のディレクションの下、「プロジェクト FUKUSHIMA!」と共に、参加した全ての人たちがそれぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手で音楽の場を作り上げることを目指した参加型の音楽フェスティバルを、東京を象徴する場の一つである東京タワーで開催します。		
美術・映像・アートプロジェクト	**上野文化の杜新構想**	**上野エリア**	**通年**
	日本有数の芸術文化機関の連携、芸術文化資産の発信などを通し、東京の芸術文化拠点としての上野の魅力を国内外へ発信します。アーツカウンシル東京と上野文化の杜新構想実行委員会が共催し、文化資源の宝庫である上野の潜在能力を発展させるため、集積している各文化施設の連携イベント等のプログラムを積極的に実施していきます。		
	六本木アートナイト 2018	**六本木エリア**	**5 月 26 日（土）・27 日（日）**
	生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴。六本木の街を舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなど多様なプログラムを展開します。		
	MOT サテライト　2018 秋	**清澄白河エリア　ほか**	**10 月頃（20 日間程度）**
	東京都現代美術館の改修工事休館中に、活動を館外に拡張し、アーティストの作品やプロジェクトを清澄白河エリアで紹介するアートプロジェクト。美術館周辺の文化拠点、商店街などと協力し、アート作品の展示のみならず、トークイベントなどの多彩なプログラムを展開し、地域の魅力を再発見するプロジェクトです。第3回となる今回は、間近に迫った美術館のリニューアル・オープンへの気運を更に盛り上げていきます。		

事業名		実施場所	開催時期(予定)
美術・映像	第 11 回恵比寿映像祭	東京都写真美術館、恵比寿エリア ほか	平成 31 年 2 月 8 日(金)～24 日(日)
	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、様々なジャンルとの対話を促す「恵比寿映像祭」。第 11 回目となる本展は、展示、上映、トーク・セッションなどを行います。また、国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像表現、視覚芸術の多様性を恵比寿・東京都写真美術館から発信します。		
演劇・舞踊	芸劇セレクション	東京芸術劇場	通年
	若手の演出家を起用した公演や様々な舞台芸術作品を上演するほか、ワークショップ等、多様なプログラムを展開します。今年度は、期待の若手演出家・藤田貴大氏による新作公演及び再演公演や、日本を代表するダンサー・振付家の勅使河原三郎氏のコンテンポラリーダンスの創作新作公演、フランスよりコンテンポラリー・サーカスのカミーユ・ボワテル氏と日本人アーティストとのコラボレーション公演、フランスの若手気鋭演出家ラディスラス・ショラー氏の演出による本邦初演公演などを実施します。		
	東京芸術祭 2018	東京芸術劇場、池袋西口公園など	9 月から 12 月
	東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した都市型総合芸術祭を実施します。フェスティバル/トーキョー、芸劇オータムセレクション、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、APAF-アジア舞台芸術人材育成部門の 4 事業によって舞台芸術の魅力を広く発信します。		
	Shibuya StreetDance Week 2018	代々木公園、渋谷エリア	11 月 24 日(土)・25 日(日)
	ストリートダンサーの聖地と言われる渋谷から、ストリートダンスの魅力や本質的な価値を様々な形で発信し、子供から大人まで幅広い層の方々が参加できるストリートダンスの祭典を開催します。		

【子供向け参加・体験型プログラム】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
キッズ伝統芸能体験	梅若能楽学院会館、宝生能楽堂、国立劇場小劇場 ほか	7 月から 12 月
日本人が大切にしてきた伝統芸能を通して、感性や心を育てることを目的としています。能楽、日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家から、子供たちが数か月にわたり直接指導を受け、最後にその成果を舞台で発表します。中・高校生のみを対象としたユースプログラムも展開します。		
子供のための伝統文化・芸能体験事業	東京都内の小・中・高等学校、特別支援学校及び各種学校として認可された外国人学校	6 月から平成 31 年 2 月
子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、幅広い理解を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験事業を学校教育と連携した取り組みとして実施します。		

事業名	実施場所	開催時期（予定）
パフォーマンスキッズ・トーキョー	**都内文化施設、都内公立小中学校 ほか**	**通年**
ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを、学校やホール等に 10 日間程度派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げ、最終日に発表公演を行います。アーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。		
Museum Start あいうえの	**東京都美術館、上野公園の文化施設**	**通年**
ミュージアム、大学、行政、市民が手を携えて、新しい学びの機会の創出を目指す、21 世紀型の教育事業です。上野公園に集まる 9 つの文化教育施設が連携し、子供たちの「ミュージアム・デビュー」を応援するとともに、子供と大人が学びあえるアクティブ・ラーニングの環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」を、東京都美術館と東京藝術大学が推進役となって実施します。		
TACT/FESTIVAL	**東京芸術劇場**	**6 月 29 日（金）～7 月 1 日（日）**
子供も大人も楽しめるフェスティバルで、海外の上質なファミリー向け作品を国内に紹介します。今年度は、フランスよりブランカ・リー・プロダクションズを迎えて上演するほか、お馴染みとなっている劇団コープスによる「ひつじ」等、ご家族で気軽に楽しめるプログラムを実施します。		

【外国人向け参加・体験型プログラム】

事業名	実施場所	開催時期（予定）
外国人向け伝統文化・芸能　短時間体験プログラム	**東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター、羽田空港国際線ターミナル、東京都庁　ほか**	**通年**
東京が誇る日本の伝統文化を国内外に発信するため、外国人の方々が日本の伝統文化・芸能を、短時間で気軽に体験できるプログラムを観光拠点等において実施します。		
外国人向け伝統文化・芸能　体験・鑑賞プログラム	**未定**	**未定**
外国人の方々が、日本の伝統文化・芸能をより深く理解できるよう、伝統文化・芸能の体験と鑑賞とを組み合わせたプログラムを実施します。		

〇文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取り組みです。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。（通年実施）

事業名	実施場所	共催団体
TERATOTERA	JR高円寺-国分寺エリア	一般社団法人 Ongoing
古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するプログラムを展開します。テラッコ（ボランティア）の人材育成に注力し、プログラムの企画・運営の実践を通じ、アーティストとともにアートプロジェクトをプロデュースできる人材を育てます。		
小金井アートフル・アクション！	小金井市	特定非営利活動法人アートフル・アクション／小金井市
小金井市をフィールドに、市民がアートと出合うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくることを目的としています。芸術文化によるまちづくりの検討や市民が事業に関わる場づくりを実施します。		
アートアクセスあだち　音まち千住の縁	足立区	東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科／特定非営利活動法人音まち計画／足立区
足立区千住地域を舞台に、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）のつながりを生み出すことを目指す、市民参加型のアートプロジェクトです。市民とアーティストが協働して、「音」をテーマとした多様なプログラムや拠点形成などを展開します。		
トッピングイースト	東東京エリア	特定非営利活動法人トッピングイースト
スカイツリーや下町観光開発が日々進化し続ける東東京エリアにおいて、パブリックな場所での音楽の展開可能性・適正規模を追求するプログラムや、音楽プログラムへの多様な参加の手法を探り、実践するプログラムを展開します。		
Betweens Passport Initiative	都内各所	一般社団法人 kuriya
『移民』の若者たちを異なる文化をつなぐ社会的資源と捉え、アートプロジェクトを通じた若者たちのエンパワメントを目的とするプロジェクトです。人材育成事業として『移民』の若者たちがプロジェクトの運営をともに行います。		
東京ステイ	都内各所	特定非営利活動法人場所と物語
「東京らしさ」を持つ場の多様性と個性を見出し発信することで、東京の文化的価値を見つめ直すことに取り組むプロジェクトです。価値発掘の手法として「ステイ」（旅人と住人の中間の視点を持つ滞在体験）を用い、そのアプローチの有効性を探っていきます。		
HAPPY TURN／神津島	神津島	特定非営利活動法人神津島盛り上げ隊
約1900人が暮らす伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指すアートプロジェクトです。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人など、様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化などの地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考えていきます。		

500 年の common を考えるプロジェクト「YATO」	町田市忠生地域	社会福祉法人東香会
町田市でユニークな保育事業を展開する団体が、保育園や寺院の遊休施設を取り巻く里山一帯を舞台に、土地の歴史や性質を踏まえながら、今後 500 年続く場と人のつながりの設計を準備するプロジェクトです。500 年という時間を、どのようにして身体化することができるのか。人の想像力の可能性を引き出すようなアートプロジェクトを展開します。		
Artpoint Meeting	未定	―
「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを介して問いを提示するアートプロジェクトを紐解き、最新のテーマを追求するトークイベント。アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぎます。		

4 東京の文化力による震災からの復興

東京都による芸術文化を活用した東日本大震災被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアート NPO 等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。（通年実施）

事業名	実施場所	共催団体（予定）
東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業（Art Support Tohoku-Tokyo）	岩手県	特定非営利活動法人いわて連携復興センター
	宮城県	つながる湾プロジェクト運営委員会 えずこ芸術のまち創造実行委員会
	福島県	福島県 いわき市 特定非営利活動法人 Wunder ground
「東京緊急対策 2011」の一環として開始した、東京都と共催し、被災地域のコミュニティに対して、現地の団体と協働してアートプログラムを実施する事業です。現地のアート NPO 等の団体やコーディネーターと連携し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。被災地域のコミュニティを再建するため、様々な分野の人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを行います。		

5 社会と芸術をつなぎ、未来をリードする人材の育成

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

事業名	実施場所	開催時期（予定）
タレンツ・トーキョー2018	未定	11 月 19 日（月）～24 日（土）
映画分野における人材育成事業として、「ベルリン国際映画祭」と提携して実施しています。映画監督やプロデューサーを目指すアジアからの参加者に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供します。		
アーツアカデミー	アーツカウンシル東京、東京芸術劇場	通年
東京の芸術文化事業を担う人材育成プログラムを実施します。		
Tokyo Art Research Lab （TARL）	アーツカウンシル東京 ROOM302 ほか	通年
アートプロジェクトを実践する人々にひらかれ、共につくりあげる学びのプログラムです。新しい芸術文化の担い手を育て、彼らが必要とする手法やスキルを開発していくことを目的としています。アートプロジェクトを紡ぐ人材等を育成していく「思考と技術と対話の学校」と、環境整備と方法論の確立を担う「研究・開発」の二軸で事業を展開します。		

6 国際的なネットワークを構築し、国際都市東京の発信力を強化

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけ作りを行います。

事業名	実施場所	開催時期（予定）
アーツカウンシル・フォーラム	未定	未定（年間 2 回程度）
芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるフォーラムを開催します。国内外のアーツカウンシル、芸術文化交流施設・機関、アーティストやクリエイター間のディスカッションを通じて、国際都市に相応しい芸術文化活動の発信や議論の場となることを目指します。		

※これらの情報は 2018 年 3 月 29 日現在のものであり、内容は変更になる場合があります。